



学校便り 7月号

山口市立嘉川小学校 (平成28年6月27日発行)

〒754-0897 山口市嘉川4986番地 ☎ 083-989-2206

嘉川小 自慢のクスノキ

本校には立派なクスノキがあります。本校自慢のシンボルで、100年を超える時を経て随分と立派になり、体育館や学校の校舎を超えるほどの高さになりました。

一方、年々枝や葉を茂らせ、枝や葉が体育館やフェンスにあたって施設を壊したり、垂れ下がった枝が樹の下を通る車にあたって車を傷つけたりするのではないかという心配もできるようになりました。

そこで、来年の2～3月頃、大掛かりな剪定をして枝振りを整えるとともに、3年後には再び素敵で立派なクスノキとして愛され親しんでいただくという計画を市教育委員会と進めています。

本校のクスノキは、「くすのっきー」という嘉川小学校のキャラクターにもなり、子どもたちから親しまれています。みんなから愛され大切にされているクスノキですから、しっかりと手入れをして末永く子どもたちとともに育ててほしいと願っています。



くすのっきー

さて、クスノキのことを少し調べてみました。

クスノキは常緑高木で、「楠」という字は、本来、中国のタブノキを指す字だそうです。近縁の種には、食用となるアボカドや、葉が線香の原料となるタブノキ、樹皮が香辛料などに利用されるシナモンがあります。

日本では、本州西部の太平洋側、四国、九州に広く見られますが、特に九州に多く、生息域は内陸部にまで広がっています。

人の手の入らない森林では見かけることが少なく、人里近くに多いということです。特に神社林では大木も見られ、ご神木として人々の信仰の対象とされるものもあるそうです。ちなみに、日本最大のクスノキは、鹿児島県蒲生(かもう)



八幡神社の「蒲生の大楠」(幹周 24.22m)で、高さが約30mという巨木だそうです。

九州には玖珠(くす)という地名がありますが、昔話に出てくる樹齢八万年といわれる大きなクスノキが玖珠盆地の中ほどに生えていたことに由来するそうです。